



URフォト&スケッチコンテスト応募作品

日本建築学会 建築計画委員会 UR集合住宅団地・保存活用小委員会企画 シンポジウム

# 地域コミュニティが繋がる 建築・場づくりの可能性

旧赤羽台団地では、その一部にあるスターハウスを含む4住棟が登録有形文化財に登録され、外観を復元して保存・活用することになりました。しかし、この住棟保存は、団地という「場」を博物館として凍結保存することが目的ではありません。このセミナーでは、団地の持っていた元来の「場」の価値や活用を考え、地域コミュニティに繋がる「未来に向けた場づくり」の可能性を議論します。建築や街、あるいは空き家の再生や活用を通じて地域コミュニティの活性化に取り組んでいるパネラーと一緒に、その実践の広がり学びながら、住宅や団地、あるいはスターハウスの価値や可能性について考えます。

- 1 | 趣旨説明 「取り組みの経緯と団地の保存活用について」 \_\_\_\_\_ 松村 秀一  
(東京大学特任教授)
- 2 | 講演 「広場としてコミュニティ・アセットの可能性」 \_\_\_\_\_ 田島 則行  
(千葉工業大学准教授/テレデザイン)
- 3 | 講演 「地域における点から多層面への展開 / HAGISOからまちまち眼鏡店まで」 \_\_\_\_\_ 宮崎 晃吉  
(HAGI STUDIO)
- 4 | 講演 「まちと仕組みのデザインを考える」 \_\_\_\_\_ 吉里 裕也  
(東京R不動産/スピーク)
- 5 | 「ディスカッション」  
進行：田島 則行 + パネリスト：宮崎 晃吉 / 吉里 裕也 / 松村秀一

定 員 | 300 名 (申込み先着順 11月29日 (火) 正午締切)

参 加 費 | 無料

申 込 方 法 | 日本建築学会 Web サイトの「催し物・公募」よりお申し込み下さい。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=668162>

※会員、後援団体、会員外、学生(会員/会員外)を選択してお申込みください。  
学生の方は、通信欄に所属先の学校名を入力してください。

申 込 問 合 せ | 日本建築学会事務局事業グループ 及川 03-3456-2057 oikawa@aij.or.jp

主 催 | 日本建築学会 建築計画委員会 UR集合住宅団地・保存活用小委員会

後 援 | 一般社団法人HEAD研究会

▽お申し込みはこちら



2022年  
12月 6日(火)  
18:00-20:00  
(オンライン開催)